

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	2
サポートクラス	モンク	Lv.1:	モンク	性別	男
称号クラス				年齢	28
種族	ドウアン			境遇	正体
出自 (効果)	商人			目標	修行

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	10	9	6	7	13	8
ボーナス	4	3	3	2	2	4	2
クラス修正	2	1	2	0	0	1	0
他修正							
能力値	6	4	5	2	2	5	2

HP	44
MP	38
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	バグナウ	至近	0	6	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ヘルム				-1	2			
胴部	レザージャケット					4			-1
補助	ポイントアーマー				-1	3			
装身具									
能力値			4	0	5	0	5	7	11
スキル	ナチュラルウェポン アイアンフィスト フェイス;グランアイン アームズマスタリー グラッドマッスル		1	10		3			
その他									
総計(右)			5	16					
総計(左)					3	12	5	7	10
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
パンダ預かり370G相当+300G	

現在重量:	5
最大重量:	12
所持金:	40
預金・借金:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ナチュラルウェポン	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果: 命中+1、攻撃+3								
バーサーク	2	3	マイナー	-	自身	自動成功		
効果: 攻撃+6、リアクション-1 d。マイナーで解除宣言orシーン終了まで								
カバーリング	★	2	ダメージ直前	至近	単体	自動成功		
効果: 対象を庇う								
カバームーブ	1	4	カバーリング	-	自身	自動成功	1/Sc	
効果: カバーリングの射程を20mに変更する								
モアタフネス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 最大HP+5 計算済み								
アイアンフィスト	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 攻撃+5								
ブラフ	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 騙す際の精神+1 d								
フェイス;グランアイン	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 攻撃+2								
悪臭	★	-	パッシブ	至近	範囲	-		
効果: 毎クリンナップ終了時に同エンゲージ内にいる自分以外の全キャラクターは難易度13の精神判定を行い、失敗すると1 dのHPロス								
アームズマスタリー格闘	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 命中+1 d								
ハードマッスル	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 物理防御+3								
	0							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

叶わぬ夢 : 気の置けない友人を得る  
 致命的な弱点: 怪物じみた顔、悪臭  
 直前の行動 : 妖魔の首をねじ切っていた

ミース出身  
 産まれた直後に産婆と父親は顔の醜悪さに腰を抜かす。  
 商家の長男として修行を積み、その一環としてルネスへ商品の買い付けに行った帰り、廃屋で雨を凌いでいるときに妖魔の群れと遭遇する。  
 護衛の手により物置小屋に隠れることができたが、数分後その護衛の断末魔を聞き恐慌状態に陥り小屋を飛び出す。  
 扉を開けた瞬間、首を掻き切られた護衛の血を顔から浴び、ふと視界が暗くなる。  
 次に気がついたとき周囲には肉片しかなく、恐ろしくなった彼は荷物も置いて失踪する。  
 両親は帰りが遅いことを不審に思い探してみると何人分かもわからない血にまみれた廃屋で馬車と馬の死体を発見し、息子が死んでしまったと嘆き悲しむ。

オブシディアンは放浪し、グランアインを祭る小さな神殿で保護された。  
 その司祭に問われ、自身に何が起きたのか洗いざらい話す。  
 妖魔に襲われたこと。一緒にいた人間が死んだこと。そして妖魔を笑いながら殴り殺す自身の姿を。  
 そんな自分が恐ろしくなり死ぬために裁くをさまよっていたことを。  
 話を聞いた僧は神殿で修行することを勧め、その前に家族に事情を説明するよう諭されミースへと戻る。  
 顔を隠し遠巻きに家族の様子を見ると、悲しみに暮れる両親を弟が笑わせている光景を目にする。  
 自分の社交性の低さ、弟への信頼と嫉妬が心の中で渦を巻きオブシディアンは両親の前に姿を現さずにミースを去ってしまう。

グランアイン神殿で己を律するための修行を始めて5年、妖魔との戦闘でも己が力を律することができるようになったころ、自分を捨ててくれた司祭が亡くなる。  
 新たな司祭が就任するやいなや「神殿の神秘性が薄れる」として放逐され、以後巡礼者として世界を旅する。